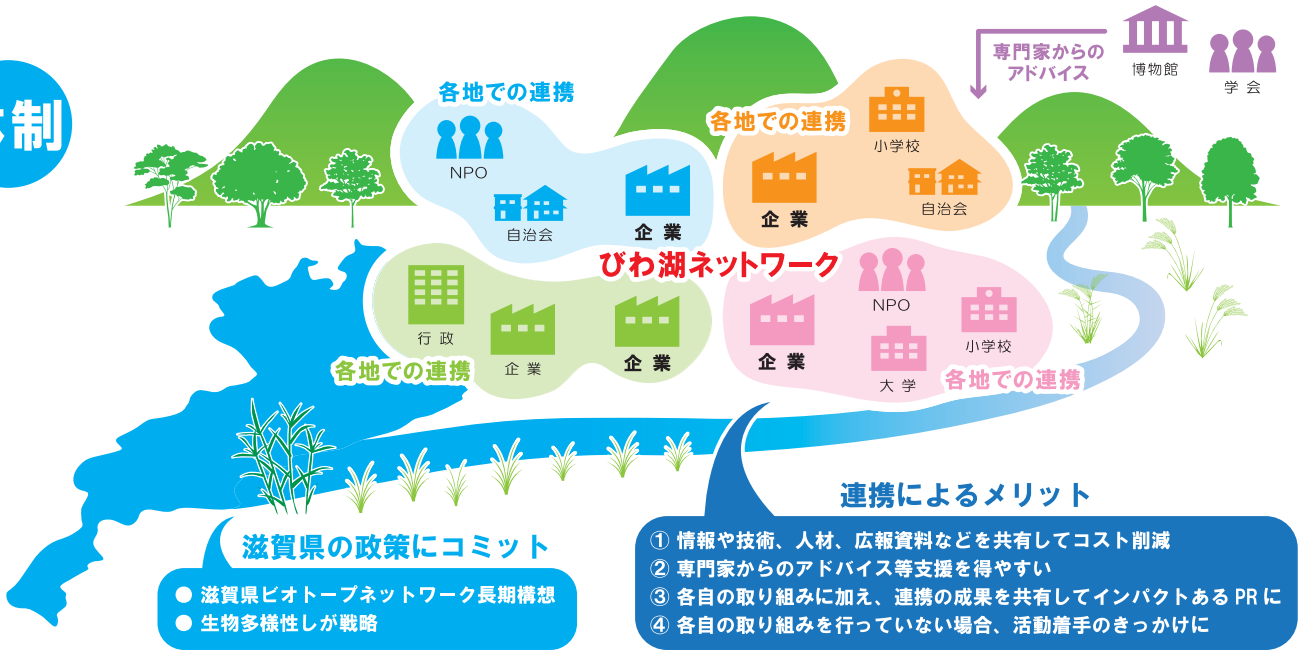
生物多様性　びわ湖ネットワーク

“生物多様性 びわ湖ネットワーク”とは…

- 各地で企業を中心に様々な主体が連携し、滋賀県で広く生物多様性保全を推進するつながりです。
- 各主体が得意なことを持ち寄り、個々の負担を減らしながら連携によるメリットを高めています。
- 共通の取り組み「トンボ 100 大作戦」を展開し、楽しく継続的な保全活動に取り組んでいます。

目的　滋賀県の生物多様性を保全する

体制



滋賀県の政策にコミット

- 滋賀県ビオトープネットワーク長期構想
- 生物多様性しが戦略

連携によるメリット

① 情報や技術、人材、広報資料などを共有してコスト削減
② 専門家からのアドバイス等支援を得やすい
③ 各自の取り組みに加え、連携の成果を共有してインパクトある PR に
④ 各自の取り組みを行っていない場合、活動着手のきっかけに

活動の場

フィードバック

- 生きもの調査 / 観察会
- 保全活動
- 先進事例の視察

（各地域や合同で実施）

ディスカッション

- 共通の活動計画の策定
- 活動情報の共有
- 手法や事例の蓄積

社会へ発信

- 連携による環境学習
- 地域交流イベント
- シンポジウムや学会

活動内容

1. **情報の蓄積**：地域の自然環境の基礎的情報の蓄積
2. **保全の実践**：科学的データに基づく保全計画の策定と実践
3. **共有と発信**：保全に関する情報や手法の共有と発信
4. **普及・啓発**：活動を通じた生物多様性の普及・啓発、人材育成

参画企業：旭化成㈱・旭化成住工㈱・オムロン㈱・積水化学工業㈱・積水樹脂㈱・ダイハツ工業㈱・㈱ダイフク・ヤンマーグローバルエキスパート㈱

SATOYAMA イニシアティブ推進ネットワーク
生物多様性 びわ湖ネットワークは「SATOYAMA イニシアティブ推進ネットワーク」の一員として自然と共に生きる社会の実現に向けて取り組んでいます。

生物多様性 びわ湖ネットワークの『トンボ 100 大作戦』は愛知ターゲット達成に向けた国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）の「にじゅうまるプロジェクト」に登録されています。

『トンボ 100 大作戦』は「国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する事業として認定を受けています。